

国際学部生の卒業条件となる留学プログラム一覧

※2021年4月現在の情報です。

	中期海外インターンシップ (約3ヶ月)		国際ボランティア (国連ユースボランティア(約5ヶ月) 国際社会貢献活動(約5ヶ月))		ダブルディグリー・留学 (約1.5～2.5年)									
留 学 先	オーストラリア： ニュー・サウス・ウェールズ大学		主に開発途上国の国連ボランティア計画 (UNV) をはじめとする国連機関等 UNV を通じて提供される案件		主に開発途上国の国際機関、NGO、教育機関など	オーストラリア： クイーンズランド大学 (UQ) カナダ： マウント・アリソン大学 (MTA) ピントリア大学 (UVC)								
留 学 時 期	9～12月		秋学期		春学期 秋学期	UQ：2年次の2月から約1.5年または約2年 MTA：2年次の9月から約2.5年 UVC：3年次の9月から約2年								
募 集 人 数	20名		4～5名程度 (予定)		各学期 15名程度	UQ：若干名 MTA：2名 UVC：若干名								
特 徴	ビジネス英語を学びながら、就業体験ができる。卒業後は世界を舞台に活躍したいというキャリアプランをもつ学生にお勧め。		①国際協力の現場で必要とされる専門知識や技術を身につけられる。 ②派遣前の事前研修により国連や国際機関、地球規模問題、異文化コミュニケーション・プロジェクト・マネジメントなどの知識が身に付けられる。 ③情報通信、教育、環境、防災活動、世界の若者の能力強化に関する分野で活動する。		①国際協力の現場で必要とされる専門知識や技術を身につけられる。 ②派遣先ごとに特徴があり、教育支援、環境保全、観光開発、平和構築などの幅広い分野で広く社会貢献活動、フィールド調査、エコツーリズム開発、調整、学校教育補助など、多様な活動に携わる。	4～5年で2つの学位の取得が可能								
費用(目安)	開学の学費とは別に参加費 (138万円程度) が必要。 参加費以外の生活費等も必要。		開学への学費を支払うほか、査証取得、事前研修の交通費、食費、宿泊費などの経費が必要。往復渡航費、現地滞在費などについては UNV から派遣手当が支給されます。		開学への学費を支払うほか、往復渡航費、現地滞在費、査証取得、海外旅行傷害保険、予防接種、健康診断などの経費が必要。	ダブルディグリー・留学案内参照								
参加資格	①2年生以上 (申込等は1年生から可) ②TOEFL iTP® 510点以上、TOEFL iBT® 64点以上、IELTS 5.5点以上(Overall)、TOEIC® 620点以上 TOEIC® スコア利用者のみ出願後に現地大学による15分程度のオンライン面接審査あり ③第1学年年度の必修英語科目の単位を修得済 (出願時は修得見込み)		①派遣される年の9月1日時点で20歳以上の2年生以上であること。(出願は1年生から可) ②日本国籍を有すること。 ③派遣前に TOEFL iTP® 500点 (IBT 61点、IELTS 5.0点、TOEIC® 630点) 以上の英語力を有することが望ましい。 ④英語以外に活用できる外国語能力を有する場合、選考やマッチングの際に有利。 ⑤開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 ⑥国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。 ⑦学業成績が良好であること。 ⑧派遣前の「国際ボランティアセミナーⅠ」及び「国際ボランティアセミナーⅡ」を修得すること。		①2年生秋学期以降の参加であること。(出願は1年生から可) ②開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 ③国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。 ④学業成績が良好であること。 ⑤派遣前の「国際ボランティアセミナーⅠ」及び「国際ボランティアセミナーⅡ」を修得すること。	ダブルディグリー・留学案内参照								
選 考	書類選考を行った上で、定員数を超った場合は抽選。		はじめに、学内選考により関西学院大学の派遣候補者が決定する。次に国連ボランティア計画 (UNV) による書類審査・電話インタビューを受ける。この選考プロセスにおいて派遣先国・機関のマッチングが行われ、派遣が確定する。UNV による選考には本学の他、国内7大学の学生も参加する。		書類及び面接による学内選考が実施される。面接選考に合格した段階で派遣予定先が決定するとともに、学内の派遣候補者となる。学内選考後、派遣先による選考(英文履歴書、英文エッセイ審査、電話インタビューなど)を経て、最終的に派遣先が確定する。	ダブルディグリー・留学案内参照								
事務窓口	国際教育・協力センター		国際教育・協力センター		国際教育・協力センター、国際学部事務局									
申込時期・決定時期	募集説明会：11月 出 願：1月 参加者決定：1月		派遣学期：[2022秋] 募集説明会：2021年10月 出願・面接：2021年11～12月 UNV による選考：2022年5～6月 派遣候補者決定：2022年6月		派遣学期：[2022秋] 募集説明会：2021年10月 出願・面接：2021年11～12月 UNV による選考：2022年5～6月 派遣候補者決定：2021年12月 ※2021年度の募集時期の詳細は下の参照資料で確認してください。	ダブルディグリー・留学案内参照								
滞 在 形 態	ホームステイ		アパートなど		派遣先により提供される住居など	ダブルディグリー・留学案内参照								
科目取扱・単位認定	[英語中期留学] (8単位) [インターンシップ準備実習(オーストラリア)] (3単位)* [海外社会体験実習(オーストラリア)] (5単位)* ※[自由履修科目] (1単位) となります。		国連ユースボランティア実習 (4、8又は12単位)、国際社会貢献実習 (12単位) は「自由履修科目」の扱いとなります。 ※国連ユースボランティア課題研究 (4単位)、国際社会貢献課題研究 (4単位) の扱いは以下の通り。 <table><tr><th>対象</th><th>修得した単位の取り扱い</th></tr><tr><td>2016年度までの参加者</td><td>「自由履修科目」</td></tr><tr><td>2017年度以降の参加者 (2014年度以降入学生)</td><td>「グローバル共通科目」</td></tr><tr><td>2017年度以降の参加者 (2013年度以前入学生)</td><td>「共通科目」</td></tr></table>		対象	修得した単位の取り扱い	2016年度までの参加者	「自由履修科目」	2017年度以降の参加者 (2014年度以降入学生)	「グローバル共通科目」	2017年度以降の参加者 (2013年度以前入学生)	「共通科目」	国際学部・留学先大学が相互に単位認定を行う。単位認定にあたっては両大学が対象科目のシラバス等により審査する。各大学で修得した単位を相互に認定することで、4～5年で2つの学位の取得が可能となっている。	国際学部・留学先大学が相互に単位認定を行う。単位認定にあたっては両大学が対象科目のシラバス等により審査する。各大学で修得した単位を相互に認定することで、4～5年で2つの学位の取得が可能となっている。
対象	修得した単位の取り扱い													
2016年度までの参加者	「自由履修科目」													
2017年度以降の参加者 (2014年度以降入学生)	「グローバル共通科目」													
2017年度以降の参加者 (2013年度以前入学生)	「共通科目」													
国際学部奨励金&国際学部奨学金について	※国際学部奨励金は全員支給・国際学部奨学金は長期留学生を対象とした選考型の奨学金です。		派遣が確定した学生に対して UNV から航空費、現地滞在費などの手当が支給されます。		派遣先により支給されるもの [ダブルディグリー留学奨学金] 月額：10万円* ※支給は、最短期間での卒業、または授業のない期間は支給されません。 ※交換留学扱い (授業料相殺) の期間は、月額3万円。 ダブルディグリー留学期間中は、開学の学費が年額5万円に減額される。	ダブルディグリー・留学案内参照								
【国際学部留学奨励金】40万円	【国際学部留学奨励金】40万円		【国際学部留学奨励金】40万円		【国際学部留学奨励金】40万円									
備 考	*第1外国語以外の中期留学や、3年次以降に参加する場合、第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。		※開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境の中です長期滞在するプログラムです。体力・精神力・開発途上国での活動実績、関連科目の履修実績が求められます。 ※このプログラムに参加する場合、第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。		高い学力と強い精神力が求められるプログラムです。									
参照資料	[国際教育・協力プログラム募集要項 VolumeⅡ] (9月発行、国際教育・協力センター)		[国際教育プログラム募集要項 VolumeⅠ] (4月発行、国際教育・協力センター) [国際教育プログラム募集要項 VolumeⅡ] (9月発行、国際教育・協力センター)		[ダブルディグリー・留学案内] [ダブルディグリー留学奨励金] (国際学部・国際教育・協力センター)									

CIEC のHPもあわせて確認してください。

留学に関する財政援助

国際学部留学奨励金・留学奨学金	国際学部生のみを対象とした返済義務のない支給型の奨学金です。在学中に1回のみ受給可能です。国際学部事務室で取り扱っています。
-----------------	--

留 学 種 別	留学奨励金	留学奨励金 (オンライン)	留学奨学金 (選考型)
短期留学 外国語研修・その他プログラム (インドネシア交流セミナー(現地開催時のみ) Cross-Cultural College(現地開催時のみ) ②派遣先ごとに特徴があり、教育支援、環境保全、観光開発、平和構築などの幅広い分野で広く社会貢献活動、フィールドワーク English through Sports	15万円	—	—
短期留学(オンライン実施)	—	上限10万円	—
中期留学	40万円	—	—
中期海外インターンシップ	40万円	—	—
国連ユースボランティア	40万円	—	—
国際社会貢献活動	40万円	—	—
中期留学プラス	20万円	—	—
交換留学・認定留学(2学期間)(オンライン実施)	60万円	—	40万円
交換留学・認定留学(1学期間)(オンライン実施)	30万円	—	20万円
交換留学・認定留学(1学期間)(オンライン実施)	—	5万円	20万円
長期留学(学科科目履修型)(2学期間)	60万円	—	40万円
長期留学(学科科目履修型)(1学期間)	30万円	—	20万円
ダブルディグリー留学	30万円	—	—

その他	全学部生を対象として、下表のような奨学金があります。内容は変更になる場合があります。CIEC が募集する奨学金と国際学部留学奨励金・奨学金は1回の留学において重複受給できません。
-----	---

取 扱 窓 口 等	奨 学 金 (金 額)
国際教育・協力センター (CIEC) 一部学外奨学金も含む。 参考資料：「国際教育・協力プログラム募集要項 VolumeⅠ!」等	●井谷憲次奨学金〔交換留学〕(2セメスター：100万円、1セメスター：50万円) ●関西学院大学交換留学奨学金(2セメスター：30万円、1セメスター：15万円) ●関西学院大学長期留学奨学金(2セメスター：50万円、1セメスター：25万円) ●一部協定大学からの補助・奨学金(本学により金額等は異なる) ●関西学院大学中期留学奨学金(20万円) ●関西学院大学短期留学奨学金(アジア：3万円、アジア以外：5万円、オンライン：2万円*) ●井谷憲次奨学金〔短期留学〕(アジア：3万円、アジア以外：5万円、融合：2万円、オンライン：2万円*) (アジア：3万円、アジア以外：5万円、融合：2万円、オンライン：2万円*) ※オンラインプログラムの参加費用が2万円を下回る場合は参加費実費を支給します。
学生課 参考資料：JASSO の Web サイト	日本学生支援機構 (JASSO) 第二種奨学金 (貸与奨学金、返済要) 月額 2万円～12万円 (1万円刻み)

SAF 認定留学

SAF (Study Abroad Foundation) は主に英語圏に留学したい学生に留学先を斡旋している米国の非営利団体です。認定留学を希望する国際学部生は SAF を通じて留学先を探すことができます。交換留学と比べて、費用は多くかかりますが、交換留学先にない大学を選べるなどのメリットもあります。

【SAF の Web サイト】 http://japan.studyabroadfoundation.org/
--

TOEIC® 及び TOEFL® はエデュケーション・テストिंग・サービス (ETS) の登録商標です。この印刷物は ETS の検討を受けまたはその承認を得たものではありません。



2021 年度 国際学部留学ガイド 関西学院大学 国際学部

【オンラインプログラムに関する奨励金の取扱いについて】

- プログラム費用により支給金額が異なります。(詳細は国際学部発行「留学の手引き」9ページ参照)
- 支給対象学生は、特例期間が適用される入学年次生に限ります。
- 国際学部留学奨励金 (オンライン) は一度限りの支給となり、複数回は受給不可となります。ただし、国際学部留学奨励金 (オンライン) を受給後、渡航を伴う留学をする場合には、従来の渡航を伴う留学時に受給できていた奨励金額を上限として、「国際学部留学奨励金 (オンライン)」を引いたその差額を支給します (例えば、渡航を伴う中期留学に参加する場合、本来の奨励金額は40万円ですが、国際学部留学奨励金 (オンライン) で5万円を受給済の場合は、差額の35万円を中期留学の奨励金として支給します)。

交換留学成功の鍵は、TOEFL® スコアと学業成績！

→留学プログラムの中でもハードルが高い交換留学。今すぐ、対策をはじめよう！！		
	交換留学で求められるスコア等	
	TOEFL iBT® (http://www.cieej.or.jp/toefl/) 公式な TOEFL®。120点満点。公式スコアでないとし込めない留学先がある。スコアを利用できる範囲が最も多い。	54～100以上 欧米への留学は 実質79以上 ないと厳しい。(54あれば出願は可能)
語学力テスト要素	TOEFL iTP® (https://www.cieej.or.jp/toefl/itp/) 団体用 TOEFLS®。677点満点。公式スコアではないため、ITP のスコアを利用できない留学先がある。そのため、ITP のスコアだけで出願する場合、必然的に競争率が高くなる。	480～580以上 (大学により異なる) 欧米への留学は 実質550以上 ないと厳しい。(480あれば出願は可能)
	IELTS (http://www.eiken.or.jp/ielts/) Academic Module のスコアを利用できる大学がある。0～9のバンドスコアで評価。	4.5～7.0以上 (大学により異なる) 欧米への留学は 実質6.5以上 ないと厳しい。(4.5あれば出願は可能)
	漢語水平考試 (HSK) (http://www.hskj.jp/) 韓国語能力試験 (TOPIK) (http://www.kret.or.jp/examination/)	交換留学出願において必ず必要なものではないが、留学先で語学力の判断材料として利用される場合がある。
学業成績要素	GPA (Grade Point Average) 0.0～4.0で4.0が最も高い。履修登録した全科目の点数をポイント化 (単位を修得できなかった科目も含まれる)。計算方法は「履修の手引」参照。	2021年度春学期末までの通算 GPA が2.30以上である者、または見込みの者で、通算 GPA の学部内順位が上位65%以内であること。* ※学部内順位は非公開であるため、個別の問い合わせには対応しない。出願締切後、出願資格を満たした面接試験 (適性審査) 受験者を発表するので各自で確認すること。(2020年度に交換留学が決定した国際学部生の平均 GPA は、 3.48 。)
	平均点 60～100で、100が最も高い。単位を修得した全科目の平均点	2020年度に交換留学が決定した国際学部生の平均点は、 87.87 。

留学と卒業計画

2年次に留学し、かつ、4年間で卒業するためには、留学していない期間に計画的に単位を修得していかなばなりません。履修基準年度3年の「研究演習Ⅰ」または「Research SeminarⅠ」は、2年次までに定められた科目群の単位を修得していなければ、履修することができません。3年次に「研究演習Ⅰ」または「Research SeminarⅠ」を履修できなければ、卒業が少なくとも1年遅れる(留年する)ことになってしまいます。留学を計画する際には、この点を理解し、2年終了時までに「研究演習Ⅰ」または「Research SeminarⅠ」の先修条件を満たせるようにしましょう。この条件は決してハードルの高いものではありません。

研究演習Ⅰ/Research SeminarⅠの先修条件	※下記単位の修得の他、休学期間を除く2年間の在学期間が必要。
【一般学生】 第1外国語初級----- 8単位 第2外国語初級----- 2単位 国際基礎科目 第1類 (入門的科目) ----- 4単位 国際基礎科目 第2類 (基礎的科目) ----- 8単位 国際基礎科目 第3類 (基礎演習科目) ----- 4単位 卒業必要単位に算入できる科目で上記以外----- 18単位 合 計 32単位	【日本語話者留学生／English-based International Student】 第1外国語初級----- 8単位 国際基礎科目 第2類 (基礎的科目) ----- 2単位 国際基礎科目 第3類 (基礎演習科目) ----- 4単位 卒業必要単位に算入できる科目で上記以外----- 18単位 合 計 32単位

その他	①長期留学、中期海外インターンシップ、国際ボランティア (国連ユースボランティア、国際社会貢献活動)、第1外国語以外の言語の国への留学については、第1外国語の単位修得方法に留意してください。単位修得に遅れられることがあります。 ②教職を目指す人は、教職課程の単位修得計画との両立を見据えて留学プログラムを選択しましょう。
-----	---

春には留学に関する説明会が多く開催されます。主なものを紹介しますので積極的に参加してください。

留学フェア	ダブルディグリー留学制度説明会
日 時 4月10日(土) 10:00～16:00	日 時 4月2日(金) 11:15～11:45
場 所 オンライン実施	場 所 第5別館 3号教室
主 催 国際教育・協力センター (CIEC)	主 催 国際学部
KG LIFE 2021 関西学院大学新入生オリエンテーション留学説明会	SAF 認定留学説明会
〔説明会〕	〔説明会〕
日 時 5月19日(水) 12:45～13:25 (昼休み)	日 時 5月19日(水) 12:45～13:25 (昼休み)
場 所 オンライン実施	場 所 オンライン実施
主 催 国際学部	主 催 国際学部
※上記以外にも複数の留学プログラム募集説明会が予定されています。詳細は「国際教育・協力プログラム募集要項 VolumeⅠ」を参照してください。	
留学に関する情報はここ！ ●国際学部「留学・国際交流」掲示板 (G 号館 15 棟 1 階) ●CIEC ウェブサイト (https://ciec.kwansei.ac.jp/) ●CIEC メールマガ (https://jfb1.msgs.jp/webapp/form/20991_jfb1_18/index.do) ●国際教育・協力センター (CIEC) 掲示板 (G 号館 1 階) ●教務 Web サービス (https://webinfo.kwansei.ac.jp/)	

国際学部生の卒業条件となる留学プログラム一覧

自分の目的・語学力・学業成績にあった留学プログラムを選ぼう！

※2021年4月現在の情報です。

	長期留学（約6ヶ月～1年）			中期留学（約4～6ヶ月）		短期留学（約1ヶ月）									
	交換留学	長期留学 （学部科目履修型）	認定留学	全学部生対象英語中期留学・ フランス語・スペイン語・ドイツ語中期留学	国際学部生のみ対象 中期留学（中国語・朝鮮語）	春季・夏季語学研修	English through Sports	インドネシア交流セミナー A	Global Career Seminar in Canada (Cross-Cultural College)	Field Study in Canadian Business (Cross-Cultural College)	短期海外インターンシップ		海外フィールドワーク		
留 学 先	北米・アジア・ヨーロッパ・オセアニア・中南米等の約180校の協定校	アメリカ・アイルランド・オーストラリアの協定校 6 校	各自が留学先大学を決定する。ただし、学位授与権のある大学に限る。語学留学での認定留学は認められない。	履修の手引き33ページを参照	中国：北京第二外国语学院（北京市）、蘇州大学（蘇州市）、国立台湾師範大学（台湾） 韓国：延世大学（ソウル）	履修の手引き34ページを参照	オーストラリア	インドネシア	カナダ	カナダ	アメリカ	ベトナム	マレーシア	ミャンマー	ベトナム
留 学 時 期	大学によって異なるが、 2～4月に出発、5～7月または12～2月に帰国 8～10月に出発、12～2月または4～7月に帰国	大学によって異なるが、 2～4月に出発、5～7月または12～2月に帰国 8～9月に出発、12～2月または4～7月に帰国	留学希望大学の学年暦による	【ドイツ語以外】 春季期プログラム：3～8月の間の約4ヶ月 秋季期プログラム：8～3月の間の約4～5ヶ月 【ドイツ語】 3～7月の間の約4ヶ月半	中国（北京・蘇州）：2～7月 台湾：8～2月 韓国：9～3月	夏季：8～9月の約3～5週間 春季：2～3月の約2～6週間	3月の約2週間	夏季のみ、8月の約2週間	春季のみ、2月の約1週間	春季のみ、2月の約2週間	8～9月の約4週間 2～3月の約4週間（アメリカのみ）		夏季のみ、 8月の約10日間	夏季のみ、 8月の約1週間	春季のみ、 2月の約1週間
募 集 人 数	各大学により異なる			大学により各学期 8～30名	北京：12名 台湾：15名 蘇州：16名 韓国：15名	プログラムにより異なる。若干名 各プログラム15～50名程度。	20名	15名	25名	10名	各20名		15名	10名	15名
特 徴	①学生交換協定のある大学で専門分野を学ぶ ②期間は1セメスターまたは2セメスター ③全学生から選考試験を経て協定校への推薦者を決める。 開学から推薦する学生に先方の大学が受入許可を出して初めて留学が確定する。	①学生交換協定のある大学で ・現地学生と同じ授業を履修 ・留学生用の授業を履修 ・語学学習、のいずれか ②期間は1セメスターまたは2セメスター ③全学生から選考試験を経て協定校への推薦者を決める。 開学から推薦する学生に先方の大学が受入許可を出して初めて留学が確定する。	①自分で留学したい大学（学位授与課程に限る）を探し、入学手続を行う。 ②現地学生と同じ授業を履修する。 ③期間は1セメスターまたは2セメスター	①外国語の上達だけでなく、国際人としての感覚を育むことが出来る。 ②語学学習に加え、インターンシップ、ボランティア、英語での講義科目を受けられる大学あり。	①約4～6ヶ月間、集中的に中国語・朝鮮語を学べる。 ②参加にあたって、語学力は問われない。 ③国際学部生のみが対象。 ④4月に保健館が実施する健康診断を受診している者	①期間は1ヶ月程度。 ②夏休みまたは春休みに行われる。 ③どちらかといえば海外初心者向け。 ④参加する年次により単位を修得できる科目が異なる。	①どちらかといえば海外初心者向け。 ②自己/自文化/自国に関する理解を深められる。 ③異文化理解、多文化共生に関心があり、海外の大学生と深く交流したい人にお勧め。 ④カルチャーシェアやフードシェアの内容を学生が自ら考え、企画することができる。	①英語で企業等の方から直接話を聞ける。 ②カナダの4大学の学生と協働学習できる。 ③短期間でもしっかりと成長を実感できる。	①多文化社会のカナダ・トロントでインターンシップできる。 ②企業から与えられたプロジェクトを英語で完遂する体験ができる。 ③短期間でもしっかりと成長を実感できる。	①インターンシップ先は日系企業が中心 ②英語力に応じてインターンシップ先や業務内容を調整するので、英語力に自信があまりないという方でも挑戦できる。	①開発途上国初挑戦の人 ②将来的に本学が提供する国連ユースボランティアまたは国際社会貢献活動への参加を検討している人				
費 用 (目安)	授業料は開学にのみ支払う（授業料相殺）。 学費以外の生活費、渡航費等が必要。	開学と留学先大学両方に学費を支払う。 学費以外の生活費、渡航費等も必要。	開学と留学先大学両方に学費を支払う。 学費以外の生活費、渡航費等も必要。	開学の学費とは別に参加費（80～300万円程度）が必要。参加費以外の生活費等も必要。	開学の学費とは別に参加費（50～100万円程度）が必要。 参加費以外の生活費等も必要。	開学の学費とは別に参加費（20～85万円程度）が必要。 参加費以外の生活費等も必要。	開学の学費とは別に42万円程度（往復送航費／ホームステイ費／現地プログラム費／海外旅行傷害保険）が必要。	開学の学費とは別に18万円程度（プログラム費／往復送航費／海外保険傷害保険／滞在費／食費／雑費含む）が必要。	開学の学費とは別に30万円程度（食費・往復送航費以外に係る交通費を除く）が必要。	開学の学費とは別に22万円程度（往復送航運賃以外にかかる交通費、ホームステイ先で提供される食事以外の食費を除く）が必要。	開学の学費とは別に13万円程度（現地プログラム費／住宅関係費／往復送航費／海外旅行傷害保険／雑費含む）が必要。参加決定後、電子渡航認証（ESTA）の申請（別途 US\$14）が別途必要。	開学の学費とは別に35万円程度（現地プログラム費／住宅関係費／往復送航費／海外旅行傷害保険／雑費含む）が必要。参加決定後、電子渡航認証（ESTA）の申請（別途 US\$14）が別途必要。	開学の学費とは別に18万円（現地プログラム費／住宅関係費／往復送航費／海外旅行傷害保険／雑費）必要。	開学の学費とは別に13万円程度（現地プログラム費／住宅関係費／往復送航費／海外旅行傷害保険／雑費）必要。	開学の学費とは別に16万円程度（現地プログラム費／住宅関係費／往復送航費／海外旅行傷害保険）必要。
参加資格	CIEC の HP を参照してください。 心身ともに健康であり、事前研修会に必ず参加することが大前提。	①留学時学部2年生以上（大学院生は申込不可） ②春学期末までの修得単位数（見込み可） 【1年生】16単位／【2年生】47単位 【3年生】76単位／【4年生】94単位 4年生については2020年度末までの単位数 ③所定の GPA および英語スコアの基準を満たしている者	①「認定留学」等の書類を国際教育・協力センターに提出（約2ヶ月前） ②認定留学希望先の大学から、入学許可取得 ③国際学部教授会による許可を得た上で、正式に認定留学として認められるかが決まる。	【英語】 ①2年生以上（申込は1年生から可） ②下記のいずれかのスコア（2019年4月以降に受験のもの） TOEIC® 500～750点、TOEFL ITP® 420～530点、TOEFL iBT® 36～71点、IELTS 4.0～5.5点 ③第1学年年度の必修英語科目の単位を修得済（出願時は修得見込み） 【フランス語】 ①原則2年生（申込時は原則1年生） ②第1学年年度の選択必修科目としてのフランス語4単位を修得済（出願時は修得見込み） 【スペイン語】 ①学部2年生以上（大学院生は申込不可） ②所属学部が指定する第1学年年度必修科目のスペイン語4単位以上を修得している者、または修得見込みの者。 【ドイツ語】 原則として1年生でドイツ語を履修している者。	国際学部の2年生以上であること。	【英語・中国語・朝鮮語・スペイン語】 特になし。 ただし、希望者が募集人数を上回った場合は抽選。 【フランス語】 選考あり 【ドイツ語】 選考あり	①学部生（1年生から参加可） ②体育会クラブ（サークル）に参加している学生、スポーツ競技や指導等の経験者、スポーツマネジメント等、幅広くスポーツに関心を持つ学生が望ましい ③英語で行われるスポーツに関する講義やアクティビティを理解できる語学力を有する者（英語能力を証明できる書類を提出できる者が望ましい）	①学部2年生以上（大学院生を除く）の者 ②TOEIC® 680点（または TOEFL® ITP 530点、TOEFL® iBT 71点、IELTS（アカデミック）5.5点、英検準1級）以上	①学部2年生以上（大学院生を除く）の者 ②TOEIC® 680点（または TOEFL® ITP 530点、TOEFL® iBT 71点、IELTS（アカデミック）5.5点、英検準1級）以上	TOEIC® 450点以上の英語力があることが望ましい。	英語で行われる講義などを理解できる語学力を有する者（英語能力を証明できる書類を提出できる者が望ましい）				
選 考	詳細はこちら。 	国際学部教授会で審議	特になし（留学希望大学の規定による）。	【英語・スペイン語】 希望者が募集人数を上回った場合は書類選考を行った上で抽選。 【フランス語】 面接試験	特になし。 ただし、希望者が募集人数を上回った場合は抽選。	書類選考	書類・面接選考	書類・面接選考	書類・面接選考	書類・面接選考	書類・面接選考	書類・面接選考	書類・面接選考	書類・面接選考	書類・面接選考
事務窓口	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター、国際学部事務局	国際教育・協力センター、文学部事務局（ドイツ語）	国際学部事務局	国際教育・協力センター・言語教育研究センター	学生活動支援機構構想部 国際教育・協力センター	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター	国際教育・協力センター
申込時期・ 決定時期	【第1期】 予備出願： 6月 本出願： 7～8月上旬 推薦者決定：9月 【第2期】 本出願： 10月 推薦者決定：12月 ※第1期、第2期ともに追加募集を予定しています	【第1期募集】 9月 決定：10月下旬 【第2期募集】 1月 決定：2月下旬	留学希望大学の学年暦による	【ドイツ語以外】 募集説明会：10月～11月 出 願：【第1期】11月（春季期プログラム） 【第2期】1月（秋季期プログラム） 参加者決定：【第1期】12月／【第2期】1月 【ドイツ語】 募集説明会：8～9月	【台湾・韓国】 募集説明会：1月頃 出 願：4月 参加者決定：4月 【中国】 9月頃 10月 10月	【英語・中国語・朝鮮語 夏季プログラム】 募集説明会・出願・参加者決定：4～5月 【英語・中国語・朝鮮語・スペイン語 春季プログラム】 募集説明会・出願・参加者決定：9～10月 【フランス語・ドイツ語】 募集説明会・出願：12月／選考・参加者決定：1月	募集説明会・出願・参加者決定：9～10月	募集説明会・出願・参加者決定：4～5月	募集説明会・出願・参加者決定：9～10月	募集説明会・出願・参加者決定：9～10月	募集説明会・出願・参加者決定：4～5月	募集説明会・出願・参加者決定：4～5月	募集説明会・出願・参加者決定：4～5月	募集説明会・出願・参加者決定：9～10月	募集説明会・出願・参加者決定：9～10月
滞 在 形 態	寮が基本	寮またはホームステイ	寮が基本	時期やプログラムにより、寮／ホームステイ／ホテル	寮	時期やプログラムにより、寮／ホームステイ／ホテル	ホームステイ	寮	ホテル	ホームステイ	寮またはホテル		寮またはホテル		
科目取扱・ 単位認定	帰国後、留学先で修得した単位について「単位認定額」とともに、シラバス・テキスト・教材等を国際学部事務局に提出する。 国際学部による単位認定審査で国際学部の授業科目として認定してもよい旨の判断がされれば、単位が認定される。			【英語】 「英語中期留学」（各8～16単位）および対象のグローバルスタディーズ科目 【フランス語】 「フランス語中期留学Ⅰ・Ⅱ」（各6単位） 【スペイン語】 「スペイン語中期留学Ⅰ・Ⅱ」（各7単位） 【ドイツ語】 「外国大学科目」（最大12単位）（「自由履修科目」の扱い）	北京第二外国语学院、蘇州大学：「中国語中期留学」（11単位） 国立台湾師範大学：「中国語中期留学」（12単位） 延世大学：「朝鮮語中期留学」（14単位）	【2年次に参加の場合】 「英語短期留学」、 「中国語短期留学」、 「朝鮮語短期留学」（各1～5単位） 【1年次に参加またはフランス語、ドイツ語・スペイン語海外研修の場合】 「外国大学科目」（1～5単位）（「自由履修科目」の扱い）	【2年次に参加の場合】 「英語短期留学」（1単位） 【1年次に参加の場合】 「外国大学科目」（1単位）（「自由履修科目」の扱い）	各プログラム「外国大学科目」（3単位） （「自由履修科目」の扱い） CP 対象科目の選択必修3に該当	各プログラム「外国大学科目」（3単位） （「自由履修科目」の扱い） CP 対象科目の選択必修1に該当	各プログラム「外国大学科目」（4単位） （「自由履修科目」の扱い）		各プログラム「外国大学科目」（2単位） （「自由履修科目」の扱い）			
国際学部奨励金& 国際学部奨学金について	※国際学部奨励金は全員支給。 国際学部奨学金は長期留学生者を対象とした選考型の奨学金です。 その他、CIEC や 学外団体が募集する奨学金の全プログラム共通ページ はこちら。 	【国際学部留学奨励金】 1セメスター：30万円、2セメスター：60万円 【国際学部留学奨励金（オンライン）】 1セメスター：5万円、2セメスター：10万円 【国際学部留学奨学金】 1セメスター：20万円、2セメスター：40万円	【国際学部留学奨励金】 40万円		【国際学部留学奨励金】 15万円 【国際学部留学奨励金（オンライン）】 上限10万円 ※ただし、国際学部が卒業要件として認めたプログラムに限る。										
備 考	①競争率が高い。TOEFL iBT® スコアアップ、学業成績を高く保つことがポイントです。 ②第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。	第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。	①SAF（Study Abroad Foundation、米国非営利組織）によるサポートを受けて留学先を探すことも可能。 ②第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。	第1外国語以外の中期留学や、3年次に以降に参加する場合、第1外国語科目の単位修得方法に留意する必要があります。		1年次に参加した場合は、国際学部の言語教育科目としてではなく、全学科目（自由履修科目）として扱われます。	現地開催時のみ【国際学部留学奨励金】15万円を支給します。								
参 照 資 料	CIEC の HP もあわせて確認してください。 	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」（4月発行、国際教育・協力センター）	第1期募集：「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」（4月発行、国際教育・協力センター） 第2期募集：「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅱ」（9月発行、国際教育・協力センター）	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」（4月発行、国際教育・協力センター） 「SAF 認定留学の手引き」（6月発行、Study Abroad Foundation）	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅱ」（9月発行、国際教育・協力センター）	「国際学部中期留学2020」 2021年度発行なし。 最新情報は 	夏季プログラム：「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」（4月発行、国際教育・協力センター） 春季プログラム：「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅱ」（9月発行、国際教育・協力センター） フランス語・ドイツ語：言語教育研究センターウェブサイト	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅱ」（9月発行、国際教育・協力センター）	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」（4月発行、国際教育・協力センター）	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅱ」（9月発行、国際教育・協力センター） CCC 日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」（4月発行、国際教育・協力センター）	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅱ」（9月発行、国際教育・協力センター） CCC 日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」（4月発行、国際教育・協力センター）	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅰ」（4月発行、国際教育・協力センター）	「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume Ⅱ」（9月発行、国際教育・協力センター）